日本キリスト教団 東金教会〔４６〕

２０２０年11月15日 降誕前第６主日礼拝

年度目標 《教会の民として生きる》

聖　句 良いし知らせをエルサレムに伝える者よ。声をあげよ、恐れるな　イザヤ書４０章９節

【礼拝式次第】

司奏受案名札拝	立里枝田延枝屋里
式楽付内係祷	足中三武安三土
前奏	中
讃美歌６	一　同
使徒信条５６４	〃
交読文２８	司・会衆同
主の祈り５６４	一　同
聖書	司　会　者
〈マタイ福音書５章３８節～４８節〉	
祈祷	足　立
新聖歌２１９	一　同
み言葉の伝え	今　野
《敵を愛す》	
讃美歌１３２	一　同
献金	
礼拝感謝	三　枝
〃　〃	土　屋
報告	足　立
頌栄５４１	一　同
祝祷(派遣)	今　野
後奏 新聖歌５８	聖　歌　隊

【集会案内】

聖研祈祷会１１月１８日(水)午後7時半～
早天祈祷会7:00～メーヤー館(除・木/日/祭日)
交わり会本日礼拝後
聖書輪読会１１月２２日(日)9:50-10:10
礼拝準備祈祷１１月２２日(日)10:25-10:30

【報告】

☆本日は既報のように今野　牧師に講壇をお守り戴きました。又、礼拝後は先生を囲んで交わり会を持ちます是非ご出席下さい。
☆去る１１月１２日(木)のひつじ組卒園旅行は　無事守られ、園児達も楽しいときを過ごしました。ご加祷有り難うございました。
☆前1・2列の 聖歌隊は出来るだけ礼拝前に着座して讃美をお献げ下さい。
☆次週２２日は謝恩日として第二献金が献げられます。隠退された教職のご用に用いられます。宜しくお願いします。又、次次週２９日は梅田先生説教、式中の幼児祝福式は中村牧師が司式です。礼拝後青年会クリスマス(第二会堂　皆様是非是非ご参加下さい。宜しくお願い致します。
☆星野富広カレンダーは今日〆切りです
☆田中　兄より「大草原の小さな家」一揃いのビデオを戴きました。御覧になりたい方は牧師まで。
※千葉支区祈りのカレンダー（掲示板）
今週は美浜教会(沢崎　牧師)が対象教会です。お祈り下さい。

【定期長老会報告】

日時…2020.10.11　場所…銀杏ルーム
出席…中村牧師　森川　(書記)　足立
武田　藤本　安延春
議事…①東金教会学園理事・評議員会と合同で第二会堂隣接地（約５８坪　土地所有者・土屋　氏）購入につき審議　交渉を中村征一郎理事長に一任（後日購入決定）　②青年会クリスマス会開催の件‥11月29日礼拝後に決定　③井上　牧師招聘委員長より牧師招聘経過状況に関する説明（招聘候補牧師の説教を11月15日に要請　招聘総会を先方教会の辞任総会(11/29)後--速やかに持つことを決定　④教会及び学校法人行事予定及び審議の件［10/8～幼稚園願書配布　10/21～11/2幼稚園願書受付　11/2支区常任委員会　11/3(幼・保)園バザー　11/7幼稚園入園面接　11/8召天者記念礼拝及び墓前礼拝　11/12幼稚園卒園旅行　11/13分区牧師会--於・長生教会　11/17幼稚園入園手続き］⑤井上健招聘委員長より名誉牧師制につき提案

【先週集会状況】

集会名	男	女	計
主日礼拝(11/8)	13	31	44
聖研祈祷会(11/11)	2	1	3
聖書輪読会(11/8)	2	3	5
教会学校(11/8)	3	8	11

早天祈祷会			
日	男	女	計
11/9	1	1	2
11/10	2	1	3
11/11	1	1	2
11/12	1	1	2
11/14	2	2	4

主日礼拝献金(１１/8)……４０,５００円
教会学校献金(１１/8)……３,８５０円

【今日のメッセージ】

題　〈滴を愛す〉
聖　書　マタイ福音書5:３８～４８
1・一緒に２ミリオン行きなさい

2・迫害する者のために祈りなさい

3・安全な者となりなさい

【次週(１１月２２日)礼拝式案内】

み言葉の伝え　〈洗礼者ヨハネの死〉
聖　書 マルコ福音書6：１４～２９
交　読　文４４
讃　美　歌７９番　３３８番
新　聖　歌３５６番

【次週(11月22日)礼拝式当番者】

御言葉の伝え …	中　村
司式者 …	藤　田
奏楽者 …	中　村
受付者 …	津　田
案内者 …	寺　井
名札当番 …	武　内
礼拝感謝祈祷 …	久　保
〃　〃 …	五　木
cs お話し …	戸　田
会堂清掃者 …	武　波
〃　〃 …	田
花係 …	小　林
看板書き …	藤　田

【聖書から】

それからイエスは付近の村を巡り歩いてお教えになった。
マルコによる福音書六章六節

イエスの郷里伝道は失敗に終わった。ナザレの者たちはイエスを幼きときから知っているという理由で彼に躓いたのである。つまり彼らはイエスを人と見ていたのである。優れたところの在る人間！それは我らにとって躓きとはならない。むしろそうであるなら彼は彼らにとってヒーローとなる。それは我らの経験を振り返ればよくわかることである。私たちはかつて憧れの人を持った経験があるのではないか。信仰について言えば人である限りは彼は彼らの仲間であり、同質的存在の優れた仲間であり、彼らの憧れの対象となる。けれどもその境界を超えるとき、彼は彼らと異質の者と認識されるとき、彼はおのずと彼らを二つに分ける者となる。彼は分水嶺的存在となり、彼と出会い、彼に触れ、彼の教えを聞いた者は彼という存在を肯定すべきか否定すべきかの回答を求められる。ある者はペテロのように「あなたこそ神の子キリストです」と言い、他の者は「世を惑わす者」として彼を否定する。ナザレの者たちは肉の彼をあまりに深く知るが故に躓いた。

イエスはそのときどうしたか。彼はナザレの村々を巡り歩いたと言う。小さな集落、そこに点在する人々と丁寧に接し、神の国の出来事を伝えた。その姿には何ら神の栄光を纏い、威光に満ちて人々を屈服させ、拝跪せしめた力のイエスの姿はない。ナザレであれ他の村々であれ彼の伝道者としての姿は変わらなかった。其処にある姿は真の人としての姿であり、彼はその姿をもって神の出来事を語り、父なる神はその姿を持ったままの彼を神の子とされた。イエスのこの地上での姿、それはあくまで人としての限界に生きつつ、その姿をもって神を仰ぐ生であった。そして聖書の神は「**それでよい！**」として彼を我らの師表とされた。彼の姿は我らの模範であり、我らも又、肉の者としてその限界に喘ぎ、そしてそのままで主を仰ぎ、父なる神を仰ぎ、その喘ぎの中で聖霊の慰めを戴き、神のお言葉に生きるのである。

【礼拝心得】

①礼拝は前奏から後奏までを守る。
②入堂したら私語を交さず、前奏までの時を黙想する。
③遅れてきた者は静かに入堂し、特に祈祷の時は入堂を控え、その場で共に祈りを守る。
④礼拝後は互いに挨拶を交し、交わりの時を持つ。
⑤各自週報棚を整理し、欠席者に週報を届ける。